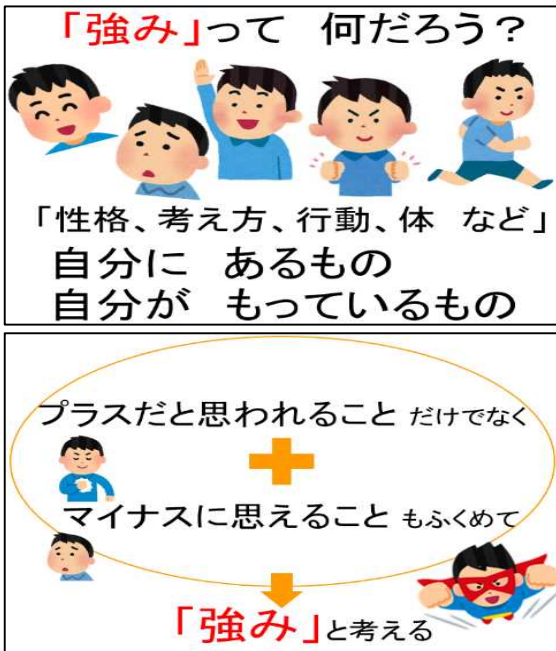
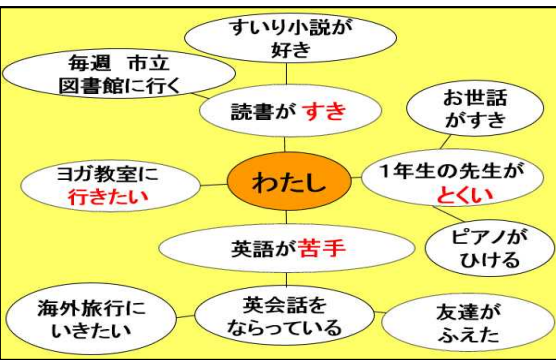


2 研究の実際 > (2) 授業の実際

ア 交流活動を進める際のポイント (小学校)

	主な活動 (交流活動…) と授業スライド等	児童の実態に即した活動のポイント
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">① 自分や友達の「強み」を知ろう</p>	<p>「強み」について知る</p> 	<p>「強み」という言葉に対するイメージは「力が強い」「体が丈夫」等にとどまっていることが考えられます。</p> <p>→スライドを見ながら、「強み」の定義を理解します。</p> <p>自分のマイナス面を「強み」と捉える発想は出にくいと考えます。</p> <p>→これから学習する「強み」とは、プラスだと思われることだけではなくマイナスに思えることも含むことを、スライドを見ながら理解します。</p>
	<p>自分ウェビング</p>  <p>「自分ウェビング」の記入例 (授業者の好きなものや苦手なこと)</p> <p>友達と自分の「強み」見付けよう</p> <p>②友達に「強み」を見つけてもらいましょう。そして、見つけた「強み」を <input type="text"/> に書いてもらいましょう。</p> <p>③自分の「強み」を書きましょう。 ぼく・わたしの「強み」は・・・</p>	<p>自分の「強み」を伝えることをためらったり恥ずかしいことと捉えたりする児童がいることが考えられます。</p> <p>→授業者の「好きなもの」や「苦手なこと」を示した「自分ウェビング」のスライドを見て書き方を理解した後に、書きやすいところから始めて、「自分ウェビング」を完成させます。</p> <p>友達の「強み」は、自分の「強み」よりも見付けやすく書きやすいことが考えられます。</p> <p>→友達の「自分ウェビング」を参考に、友達の「強み」を見つけて友達のワークシートに記入した後に、友達から記入してもらった「強み」を見て、自分の「強み」を書くという活動を通して自他の強みを知ります。</p>

② 自分や友達の「強み」を生かそう

主な活動（交流活動・・・）と授業スライド等

児童の実態に即した活動のポイント

星☆いくつ

友達と自分の「強み」見付け

星☆いくつ 名前(江頭 太郎)

メンバー 岡 江頭 井上 香田

1	おもしろい				
2	明るくて いつもニコニコ				
3	思いやりがある・やさしい				
④	お世話がすき・お世話が上手				
5	話を聞くのが 上手				
⑥	最後まで がんばる				
7	体力が ある				
8	あいさつ名人・返事名人				
9	はきはきと 話す				
⑩	グッドアイデアを 思いつく				

友達の「強み」は、自分の「強み」よりも見付けやすく書きやすいことが考えられます。

→友達のワークシートにシールを貼る活動を通して友達の「強み」について考え、友達からもらったシールを参考にして、自分の「強み」について考えることで、自己理解と他者理解を深めます。

ステップ アップ ウェビング

アイデアやヒントの視点

ステップアップウェビング

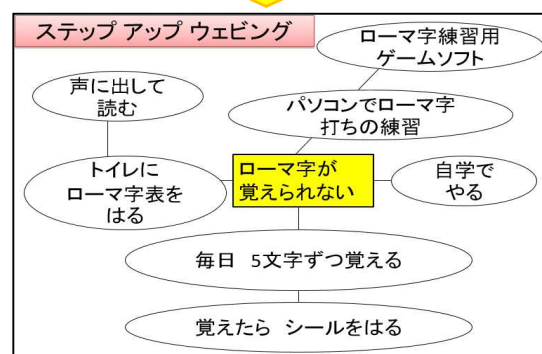
解決するためのアイデアやヒントを友達からもらおう！

- 自分のやり方を教えてあげてもいいよ。
- 先生や家族に教えてもらったやり方を書いてもいいよ。
- 今、思いついたアイデアを書いてもいいよ。
- 「強み」を生かせるといいね。
- にているアイデアや、関係のあるアイデアはつなげてね。

自分の“苦手なこと”や“困っていること”に対して、自分の「強み」を生かして解決するという発想は出にくいことが考えられます。

→スライドの説明を参考にして、“苦手なこと”や“困っていること”を解決するアイデアやヒントの視点を学習します。

「ステップアップウェビング」の記入例
(苦手なことを解決するアイデア)



「友達の役に立ちたい」「友達に教えてあげたい」という気持ちは強いと考えます。

→友達の“苦手なこと”や“困っていること”を解決するアイデアを、友達の「強み」を参考にして考えることで他者理解を深めます。

自分の「強み」を生かす

ステップアップウェビング 名前(江頭 太郎)

④「強み」を生かして、苦手なことや困っていることを解決するためにやってみたいことや、がんばりたいことを書きましょう。

- 毎日10文字ずつ自学ノートに書いて、先生に提出する。

「強み」を生かすことにより、“やってみたいこと”や“がんばりたいこと”にチャレンジしやすくなると考えます。

→友達から記入してもらったアイデアを参考にし、自分の「強み」を生かした解決方法を考えさせることで、実践意欲を高めます。

主な活動（交流活動・・・）と授業スライド等

児童の実態に即した活動のポイント

③ 自分や友達の「強み」を生かしている工夫

お宝ウェビング

活動の振り返り

これまでの活動を振り返ろう

1時目 「自分ウェビング」

2時目 「星☆いくつ」

「ステップアップウェビング」

「お宝ウェビング」の記入例
(整理した自分の「強み」)

お宝ウェビング

「自分ウェビング」「星☆いくつ」「ステップアップウェビング」を通して見つけた **自分の「強み」** を書きましょう。
関係のあるものは、つなげましょう。

「お宝ウェビング」の記入例
(友達が書き加えた「強み」)

お宝ウェビング

グループの友達の「お宝ウェビング」に、その **友達の「強み」** だと思えるものを書き加えましょう。
関係のあるものはつなげましょう。

これがあれば大丈夫！

「これがあれば大丈夫！」の記入例
(生かしたい「強み」)

「これがあれば大丈夫！」

① これから先、あなたが **困ったとき** や **落ち込んだとき**、**何かにチャレンジしたいとき** に、「これがあれば大丈夫！」と思える「強み」を 2つ選んで、リュックに入れましょう。

【選んだ「強み」】

【選んだ理由】

前時までの学習活動を振り返ったり自分の「強み」を再確認したりする活動では、スライドや具体物を使って視覚的に示すことは有効であると考えます。

→スライドや前時までのワークシート等を見ながら、自分の「強み」を再確認します。

これまでに見つけた「強み」を関連付けたり、新たな「強み」に気付いたりするためには、視覚的な手立てが必要だと考えます。

→これまでに見つけた「強み」を、ウェビングマップにまとめて整理することにより、自己理解を深めます。

友達にメッセージや手紙を贈ることに喜びを感じると思います。

→友達の「強み」を書き加えるときに自分の名前を書き添えることにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲を高めます。

複数の「強み」の中から、場面に応じた「強み」を選択することは難しいと考えます。

→自分の「強み」の中から「これがあれば大丈夫！」と思える強みを2つ選ぶことにより、「強み」を生かしているという意欲を高め、実践につながります。

※3時間の学習で使用したワークシート等をファイルにとじ、「ストレンクス・グッズ」として児童に配付します。